

第34回（小名浜海星高等学校野球部監督 若林 亨）

書籍リレーの依頼を受け、私が影響を受け長きに渡り愛読している書籍が2つ、影響を受けた書籍が1つありましたのでご紹介できればと思います。

○PHP研究所（1946年 松下幸之助によって創設）

・前任校（平工業）で監督に成り立ての頃、選手指導・采配・起用について、自分の力量不足を痛感する日々が続き自己嫌悪になっていた時期がありました。そんなある日コンビニに立ち寄った際、本棚コーナーにふと目を配った時「落ち込んだ心の立て直し方」のタイトルが目飛び込んできました。読んでみると月ごとのタイトルに因んだ色々な方々の人生経験談が書かれてあり、それぞれの方々が如何に厳しい局面をいかに乗り越えてきたのかなど、読んでいて大変心が救われましたし勉強にもなりました。また、野球でのメンタル指導に役立つ言葉が盛り沢山で、大いに使わせて頂いた一冊です。

趣旨として「お互いが身も心も豊かになって、平和で幸福な生活を送る方策を、人間の本質に照らしつつ、それぞれの知恵と体験を通して提案し考えあう一つの間」と書いてあります。

年齢に関係なく、その立場で思い悩んだ時、心に手を差し伸べてくれる一冊だと思います。

○Baseball Clinic（ベースボールクリニック/ベースボール・マガジン社）

野球には教科書がありませんがこの書籍をある意味利用していました。毎年取り上げられたチームの監督指導理念や日頃の練習の取り組み、各分野の専門的な知識も幅広く載っています。自身の勉強のために興味を持っていたのが、「監督の目/そのときベンチは」のコーナーで、甲子園大会中は全日程を録画し、雑誌に取り上げられたチームの試合映像を観ながら、何が理由で勝敗を決める原因になったのか、現場監督同士の読み合いを含め解説者の話も参考にしながら「流れ」というものを勉強し、それをまた新チームの指導、次戦の大会に向けて活かせるよう取り組んでいました。野球概念が日々変化していく中で大変参考となる一冊ではないかと思っています。

○「弱者の兵法」（著者 野村克也氏野村流 必勝の人材育成論・組織論）

2004年に東北地方初のプロ野球楽天イーグルスが誕生し同じ東北人として純粋に応援していました。2006年から後任となった野村監督の毎年の戦績や報道なども拝見しながら在任中の4年間でリーグ2位まで押し上がり、その中身に興味を持ち始めました。退任後、スパリゾートハワイアンズで講演すると情報が入り拝聴しました。講演終了後、会場の出口で野村監督の書籍が複数販売してあったのですが、なぜか真っ先に目に飛び込んで来たのがこのタイトルが「弱者の兵法」でした。

【目次】

序章 日本の野球はベースボールを超えた	第一章 プルフェッショナルとは何か
第二章 全知全能を懸けてこそ弱者は強者になる	第三章 指導者の役割とは何か
第四章 「無形の形」が弱者を勝利に導く	第四章 人間教育が真に強い組織の礎を成す

この書籍に出会ったのが旧いわき海星高校へ移動2年目の時期でもあり、赴任後も改めて目標とする甲子園にいかにかに近づく指導が出来るか、与えられた環境の中でどこまで出来るのか、自分なりの経験や考えをもって指導していた最中でした。

第四章の「弱者を強者に変える無形の力」という項目があり、その中の文章に『一球ごとに生じる野球の「間」とは何を意味するのか？「その間に考えろ、備えろ」と言っているのである。一球ごとに移り変わる状況や心理状況を見極め、次に起こる事を予測して、最も成功する確率の高い作戦を選択する。その為の時間が与えられているのだ』という文言が、はっと気づかされる言葉でした。日頃の指導でどの領域までその「間」に対する状況指導や、準備にどれだけ取り組ませているのか？という自分に対する疑問符に、書籍全体を読む事で確証がなく曖昧だった事柄がパズルのピースが沢山見つかった感じがし、その後の選手に対する言葉掛けや練習内容、試合での采配の仕方が大きく変わるきっかけとなりました。

最後になりますが、その最中にあの震災が起こり全ての環境が破壊されてしまいました。当時を思い出すと沢山の不安や困難、逆境がありました。残された環境の中でもがいている時、今まで読んだこれらの書籍内の言葉が自然と思い出され前向きな思考に変換され、逆に逆境をハンデとしない感覚になっていきました。その様な環境で選手たちもたくましく成長する姿があり試合の戦い振りも「諦めない」「絶対に負けない」という心の変化が現れてきました。

私が書籍との出会いから学んだ事は、書籍の中で何か感じた言葉がいつしか自分の中で信念の様なものに変化し、人生に起こる様々な出来事を乗り越えようとする時、その礎になるのかなと感じました。

今後も何か思う時、また書籍との出会いを求めて書店に足を運びたいと思っています。